



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年4月25日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4551 URL <https://www.torii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 剛一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 賢 (TEL) 03(3231)6811  
 四半期報告書提出予定日 2019年4月26日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	9,161	△34.2	△709	—	△656	—	28,522	—
2018年12月期第1四半期	13,930	2.4	769	44.2	790	42.2	569	46.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	1,016.43	—
2018年12月期第1四半期	20.29	20.29

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	148,785	115,177	77.4
2018年12月期	103,253	87,092	84.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 115,166百万円 2018年12月期 87,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	△39.2	△3,200	—	△3,100	—	22,500	—	801.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2019年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	28,800,000株	2018年12月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	738,926株	2018年12月期	738,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	28,061,131株	2018年12月期 1 Q	28,048,378株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	2018年12月期 第1四半期累計期間	2019年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	13,930	9,161	△4,769	△34.2%
(うちHIV感染症領域を除く 売上高(百万円))	(9,472)	(9,161)	(△311)	(△3.3%)
営業利益又は営業損失(△) (百万円)	769	△709	△1,478	—
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	790	△656	△1,446	—
四半期純利益(百万円)	569	28,522	27,953	—

売上高は、9,161百万円と前年同期に比べ4,769百万円(34.2%)減少しました。これは、2019年1月に抗HIV薬6品(「ピリアード錠」「エムトリバカプセル」「ツルバダ配合錠」「スタリビルド配合錠」「ゲンボイヤ配合錠」「デシコビ配合錠」)の販売権を返還したことによるものです。HIV感染症領域を除く売上高につきましては、フランチャイズ領域である「腎・透析領域」「皮膚疾患領域」「アレルギー領域」における既存製品の維持・拡大に努めた結果、アレルギー領域は伸長しましたが、主に腎・透析領域において「レミッチ(透析患者における経口そう痒症改善剤)」が後発品の影響を受けたことにより9,161百万円と前年同期に比べ311百万円(3.3%)減少しました。

各フランチャイズ領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「レミッチ」は後発品の影響により1,910百万円と前年同期に比べ1,094百万円(36.4%)減少しましたが、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」は市場浸透・拡大に注力したことにより1,422百万円と前年同期に比べ62百万円(4.6%)増加しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が1,260百万円と前年同期に比べ36百万円(2.8%)減少しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シダトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免疫療法薬)」は489百万円と前年同期に比べ95百万円(24.2%)増加し、2018年6月に販売を開始した「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は247百万円となりました。また、「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は476百万円と前年同期に比べ325百万円(214.9%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は売上高が減少したこと等により4,392百万円と前年同期に比べ2,561百万円(36.8%)減少し、販売費及び一般管理費は販売促進費が減少したこと等により5,477百万円と前年同期に比べ729百万円(11.8%)減少しました。

以上の結果、営業損失は709百万円(前年同期は営業利益769百万円)、経常損失は656百万円(前年同期は経常利益790百万円)となりました。四半期純利益は抗HIV薬6品の販売権返還に係る譲渡益40,614百万円を特別利益に計上したことにより28,522百万円と前年同期に比べ27,953百万円増加しました。

## (2) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、148,785百万円と前事業年度末に比べ45,532百万円(44.1%)増加しました。これは、投資その他の資産のその他に含まれる長期前払費用が1,638百万円減少しましたが、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が27,331百万円、有価証券が14,199百万円、投資有価証券が5,669百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、33,608百万円と前事業年度末に比べ17,447百万円(108.0%)増加しました。これは、未払法人税等が10,727百万円、買掛金が3,729百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が2,796百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、115,177百万円と前事業年度末に比べ28,084百万円(32.2%)増加しました。これは、主に利益剰余金が27,848百万円増加したことによるものです。

## (3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は986百万円です。

導入活動・研究(共同)開発活動の主な進捗及び成果につきましては、次のとおりです。

- ・日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」)と日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結したJAK阻害剤「JTE-052(デルゴシチニブ)軟膏」につきまして、JTは、2019年1月に成人患者を対象とした日本国内における製造販売承認を申請しております。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2019年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

## (4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(2019年2月6日「2018年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,484	5,138
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	9,169	36,501
受取手形及び売掛金	27,137	25,518
有価証券	28,606	42,805
商品及び製品	4,722	5,737
仕掛品	626	594
原材料及び貯蔵品	2,965	3,277
その他	1,740	717
流動資産合計	78,453	120,290
固定資産		
有形固定資産	3,431	3,267
無形固定資産	669	604
投資その他の資産		
投資有価証券	13,770	19,440
その他	6,927	5,181
投資その他の資産合計	20,698	24,622
固定資産合計	24,799	28,494
資産合計	103,253	148,785
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,657	10,386
未払法人税等	852	11,580
賞与引当金	675	1,301
役員賞与引当金	63	9
返品調整引当金	6	5
その他	6,019	8,429
流動負債合計	14,274	31,713
固定負債		
退職給付引当金	1,077	1,109
その他	808	784
固定負債合計	1,885	1,894
負債合計	16,160	33,608
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	76,056	103,905
自己株式	△1,455	△1,455
株主資本合計	86,217	114,066
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	864	1,100
評価・換算差額等合計	864	1,100
新株予約権	11	11
純資産合計	87,092	115,177
負債純資産合計	103,253	148,785

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	13,930	9,161
売上原価	6,954	4,392
売上総利益	6,976	4,768
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,145	617
給料及び手当	1,298	1,242
賞与引当金繰入額	558	530
研究開発費	1,016	986
その他	2,188	2,100
販売費及び一般管理費合計	6,206	5,477
営業利益又は営業損失(△)	769	△709
営業外収益		
受取利息	9	31
受取配当金	0	0
為替差益	0	—
その他	9	21
営業外収益合計	20	53
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益又は経常損失(△)	790	△656
特別利益		
販売権譲渡益	—	40,614
特別利益合計	—	40,614
特別損失		
固定資産除却損	0	1
事業構造改革費用	—	9
特別損失合計	0	11
税引前四半期純利益	789	39,947
法人税等	220	11,424
四半期純利益	569	28,522

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

# 2019年12月期 第1四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
③ 設備投資の状況	P.1
④ 非資金項目	P.1
II 2019年12月期 第1四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 研究開発の状況	P.5
III 2019年12月期 業績予想	P.6
① 損益計算書	P.6
② 製商品別売上高	P.8

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

※ 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

2019年4月25日



鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

## ① 経営成績

2019年12月期 業績予想については、前回発表（2019年2月6日「2018年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値から変更はありません。

(単位:百万円)	2018年12月期 第1四半期 A	2019年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2018年12月期 実績	2019年12月期 予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	13,930	9,161	△4,769	△34.2	62,551	38,000	24.1
営業利益	769	△709	△1,478	-	4,951	△3,200	22.2
経常利益	790	△656	△1,446	-	5,080	△3,100	21.2
四半期(当期)純利益	569	28,522	27,953	-	1,164	22,500	126.8
(参考)							
研究開発費	1,016	986	△29	△2.9	4,138	3,300	29.9
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 20.29	1,016.43	996.14		41.51	801.82	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 0.7	28.2	27.5		1.3		
総資産経常利益率	(%) 0.8	△0.5	△1.3		4.9		
売上高営業利益率	(%) 5.5	△7.7	△13.2		7.9		
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 0.5	22.6	22.1		1.1		

## ② 財政状態

(単位:百万円)	2018年12月期 A	2019年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	103,253	148,785	45,532	44.1
純資産	87,092	115,177	28,084	32.2
自己資本比率	(%) 84.3	77.4	△6.9	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 3,103.28	4,104.13	1,000.85	

## ③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2018年12月期 第1四半期 A	2019年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2018年12月期 実績	2019年12月期 予想
設備投資額	165	33	△131	△79.5	811	502
有形固定資産	99	19	△80	△80.2	660	292
無形固定資産	65	14	△51	△78.3	150	210

## ④ 非資金項目

(単位:百万円)	2018年12月期 第1四半期 A	2019年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2018年12月期 実績	2019年12月期 予想
減価償却費	249	250	1	0.4	1,040	1,020
長期前払費用償却費	268	121	△147	△54.9	965	476

## Ⅱ 2019年12月期 第1四半期実績

### ① 四半期損益計算書

(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減額	増減率 (%)	2019年12月期	対予想 進捗率(%)
	第1四半期	第1四半期			予想	
	A	B	B-A	(B-A)/A	C	B/C
売上高	13,930	9,161	△4,769	△34.2	38,000	24.1
製商品売上高	13,550	8,702	△4,848	△35.8	36,170	24.1
HIV感染症領域を除く 製商品売上高	9,092	8,702	△390	△4.3	36,170	24.1
腎・透析領域	5,279	4,113	△1,166	△22.1	16,270	25.3
皮膚疾患領域	2,018	2,039	21	1.1	8,420	24.2
アルゲン領域	631	1,293	662	105.0	5,670	22.8
その他	1,163	1,255	91	7.9	5,810	21.6
HIV感染症領域	4,457	—	△4,457	△100.0	—	—
その他の売上高	380	458	78	20.6	1,830	25.1
売上原価	6,954	4,392	△2,561	△36.8	19,400	22.6
製商品売上原価	6,941	4,379	△2,561	△36.9		
その他の原価	13	13	0	1.8		
売上総利益	6,976	4,768	△2,208	△31.7	18,600	25.6
販売費及び一般管理費	6,206	5,477	△729	△11.8	21,800	25.1
販管費(研究開発費除く)	5,190	4,490	△700	△13.5	18,500	24.3
研究開発費	1,016	986	△29	△2.9	3,300	29.9
営業利益	769	△709	△1,478	—	△3,200	22.2
営業外損益	20	52	32	—		
経常利益	790	△656	△1,446	—	△3,100	21.2
特別損益	△0	40,603	40,604	—		
税引前四半期純利益	789	39,947	39,157	—		
法人税等	220	11,424	11,204	—		
四半期(当期)純利益	569	28,522	27,953	—	22,500	126.8

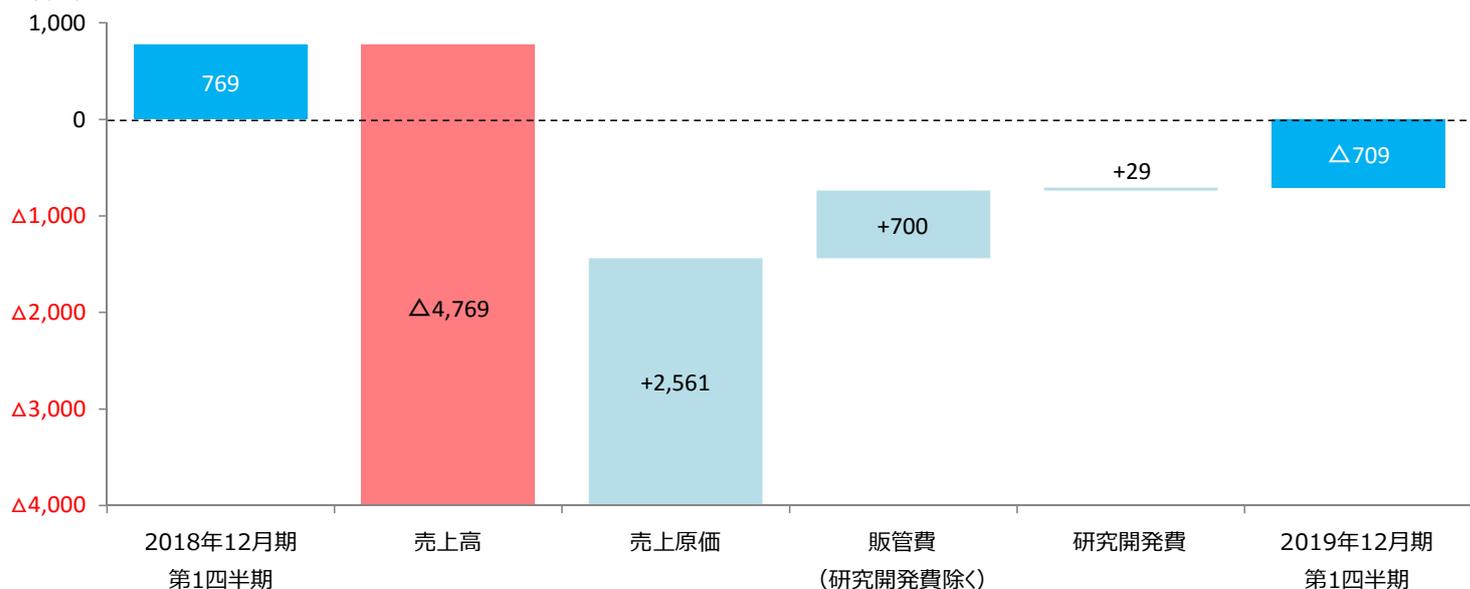
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2018年12月期	2019年12月期	増減
	第1四半期	第1四半期	
	A	B	B-A
売上原価	49.9	48.0	△1.9
販売費及び一般管理費	44.6	59.7	15.1
研究開発費	7.3	10.8	3.5
営業利益	5.5	△7.7	△13.2
経常利益	5.7	△7.2	△12.9
四半期純利益	4.1	311.3	307.2

【対前年同期増減要因】

営業利益 (△709百万円 対前年同期△1,478百万円)

(単位:百万円)



主な増減要因

売上高	: 抗HIV薬販売権の返還による減少、レミッチの後発品の影響による減少、アレルギー領域の伸長による増加 ※製商品別売上高の増減については次頁をご参照ください。
売上原価	: 売上高の減少
販管費 (研究開発費除く)	: 販売促進費の減少

経常利益 (△656百万円 対前年同期△1,446百万円)

特記事項: 特になし

四半期純利益 (28,522百万円 対前年同期+27,953百万円)

当期 抗HIV薬販売権の返還に係る譲渡益 40,614百万円

## ② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減額	増減率 (%)
	第1四半期	第1四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
製商品売上高	13,550	8,702	△4,848	△35.8
HIV感染症領域を除く製商品売上高	9,092	8,702	△390	△4.3
[腎・透析領域]				
レミッチ	3,005	1,910	△1,094	△36.4
経口そう痒症改善剤				
リオナ錠	1,359	1,422	62	4.6
高リン血症治療剤				
ケイキサレート ※1	434	439	5	1.3
高カリウム血症改善剤				
注射用フサン ※1	314	206	△108	△34.4
蛋白分解酵素阻害剤				
その他	165	133	△31	△19.1
計	5,279	4,113	△1,166	△22.1
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※1	1,296	1,260	△36	△2.8
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※1	348	397	48	14.0
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	241	256	15	6.5
抗真菌薬				
その他	131	125	△6	△5.2
計	2,018	2,039	21	1.1
[アレルギー領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	394	489	95	24.2
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1	151	476	325	214.9
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
シダキュア スギ花粉舌下錠 ※1、2	—	247	247	—
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
その他	85	79	△5	△6.8
計	631	1,293	662	105.0
[その他]				
ビオスリー	573	626	53	9.3
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	589	628	38	6.5
計	1,163	1,255	91	7.9
HIV感染症領域	4,457	—	△4,457	△100.0

※1 自社品

※2 「シダキュア スギ花粉舌下錠」は、2018年6月より販売しております。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減	増減率 (%)
	第1四半期	第1四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
自社品売上高	3,433	4,034	600	17.5
自社品比率 (%)	25.3	46.4	21.1	—

### ③ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>腎・透析領域</b>								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・日本たばこ産業(株)との共同開発（適応追加）</li> <li>・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中</li> </ul>
JTZ-951	腎性貧血	経口剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> </ul>
<b>皮膚疾患領域</b>								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤				申請		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> <li>・日本たばこ産業(株)が2019年1月に製造販売承認申請</li> </ul>
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> </ul>
<b>アレルギー領域</b>								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・自社開発</li> <li>※今後の開発方針について検討中</li> </ul>

(参考)

2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症（SHPT）治療薬であるcalcifediol徐放製剤（米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売）について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。

当社の親会社である日本たばこ産業(株)（うち医薬事業部門）とは、医薬品に関する製品及びサービスにおいて、各々の強みを生かし、当社は主に製造と販売の機能を担っており、親会社は研究開発の機能を担っております。なお、親会社の研究開発の状況は、日本たばこ産業(株)ホームページ上の「医療用医薬品臨床開発状況」をご参照ください。

<https://www.jti.co.jp/investors/library/business/briefing/index.html>

### Ⅲ 2019年12月期 業績予想

2019年12月期 業績予想については、前回発表（2019年2月6日「2018年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値から変更はありません。

#### ① 損益計算書

(単位:百万円)	2018年12月期	2019年12月期	増減額	増減率 (%)
	実績 A	予想 B		
売上高	62,551	38,000	△24,551	△39.2
製商品売上高	61,835	36,170	△25,665	△41.5
HIV感染症領域を除く 製商品売上高	40,386	36,170	△4,216	△10.4
腎・透析領域	21,991	16,270	△5,721	△26.0
皮膚疾患領域	9,126	8,420	△706	△7.7
アレルギー領域	3,803	5,670	1,866	49.1
その他	5,464	5,810	345	6.3
HIV感染症領域	21,448	—	△21,448	△100.0
その他の売上高	716	1,830	1,113	155.5
売上原価	31,844	19,400	△12,444	△39.1
売上総利益	30,707	18,600	△12,107	△39.4
販売費及び一般管理費	25,755	21,800	△3,955	△15.4
販管費（研究開発費除く）	21,616	18,500	△3,116	△14.4
研究開発費	4,138	3,300	△838	△20.3
営業利益	4,951	△3,200	△8,151	—
経常利益	5,080	△3,100	△8,180	—
当期純利益	1,164	22,500	21,335	—

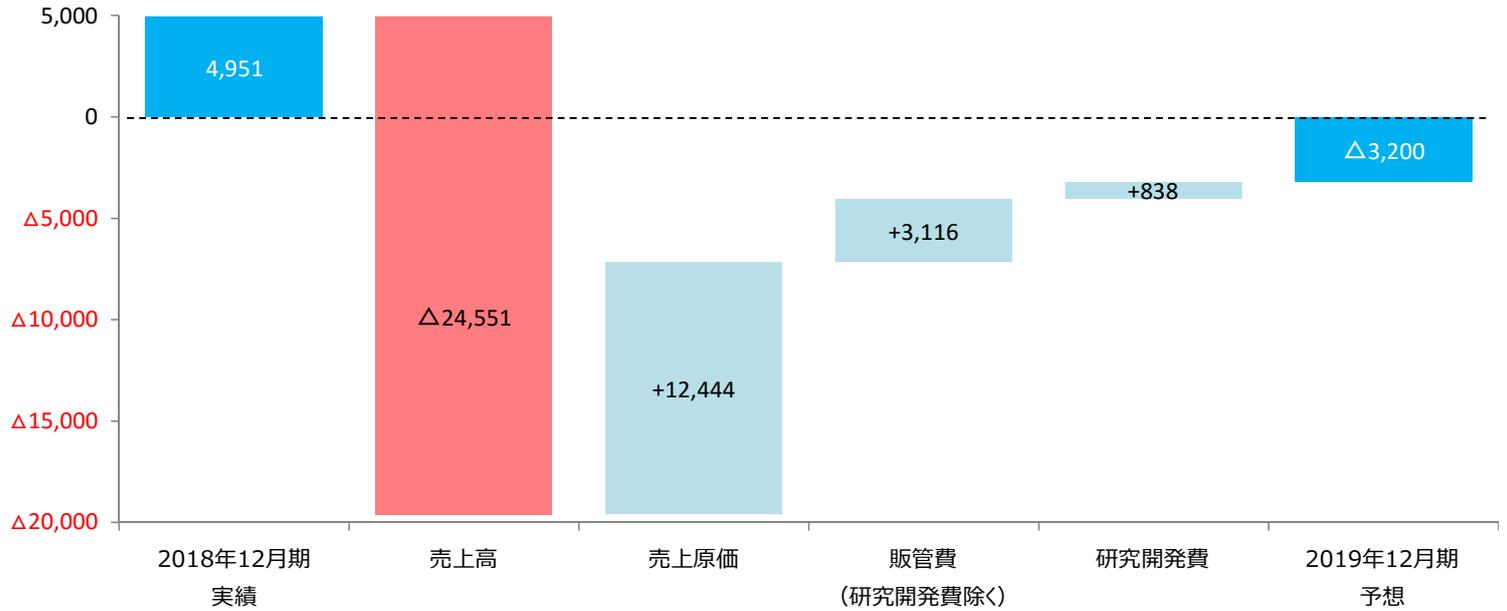
(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2018年12月期	2019年12月期	増減
	実績 A	予想 B	
売上原価	50.9	51.1	0.2
販売費及び一般管理費	41.2	57.3	16.1
研究開発費	6.6	8.7	2.1
営業利益	7.9	△8.4	△16.3
経常利益	8.1	△8.2	△16.3
当期純利益	1.9	59.2	57.3

【対前期実績増減要因】

営業利益 (△3,200百万円 対前期実績△8,151百万円)

(単位:百万円)



主な増減要因

売上高	: 抗HIV薬販売権の返還による減少、レミッチの後発品の影響による減少 ※製商品別売上高の増減については次頁をご参照ください。
売上原価	: 売上高の減少
販管費 (研究開発費除く)	: 販売促進費の減少、事業構造改革による減少 (人件費等)
研究開発費	: 共同開発費用 (JTS-661、JTE-052) の減少

経常利益 (△3,100百万円 対前期実績△8,180百万円)

特記事項: 特になし

当期純利益 (22,500百万円 対前期実績+21,335百万円)

前期	事業構造改革費用 (減損損失)	2,021百万円
	繰延税金資産の一部取崩し	467百万円
当期	抗HIV薬販売権の返還に係る譲渡益	40,614百万円
	事業構造改革費用 (割増退職金等)	5,200百万円

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2018年12月期 実績 A	2019年12月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	61,835	36,170	△25,665	△41.5
HIV感染症領域を除く製商品売上高	40,386	36,170	△4,216	△10.4
[腎・透析領域]				
リオナ錠	6,603	7,150	546	8.3
高リン血症治療剤				
レミッチ	11,598	6,450	△5,148	△44.4
経口そう痒症改善剤				
ケイキサレート ※1	1,963	1,930	△33	△1.7
高カリウム血症改善剤				
注射用フサン ※1	1,138	190	△948	△83.3
蛋白分解酵素阻害剤				
その他	688	550	△138	△20.1
計	21,991	16,270	△5,721	△26.0
[皮膚疾患領域]				
アンテベート ※1	5,536	4,890	△646	△11.7
外用副腎皮質ホルモン剤				
ロコイド ※1	1,541	1,570	28	1.8
外用副腎皮質ホルモン剤				
ゼフナート	1,454	1,450	△4	△0.3
抗真菌薬				
その他	593	510	△83	△14.1
計	9,126	8,420	△706	△7.7
[アレルギー領域]				
シダキユア スギ花粉舌下錠 ※1、2	405	2,750	2,344	578.6
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
ミティキュア ダニ舌下錠 ※1	1,247	1,760	512	41.1
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	1,859	850	△1,009	△54.3
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬				
その他	291	310	18	6.4
計	3,803	5,670	1,866	49.1
[その他]				
ビオスリー	2,682	2,840	157	5.9
活性生菌製剤(整腸剤)				
その他	2,782	2,970	187	6.7
計	5,464	5,810	345	6.3
HIV感染症領域	21,448	—	△21,448	△100.0

※1 自社品

※2 「シダキユア スギ花粉舌下錠」は、2018年6月より販売しております。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2018年12月期 実績 A	2019年12月期 予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	15,855	16,350	494	3.1
自社品比率 (%)	25.6	45.2	19.6	—